

チーム豊成の力を高め、「潤いと勢い」のある学校づくり

Connect



帯広市立豊成小学校
プロジェクト通信



令和3年7月5日
NO.4 文責 河村

キャリア

JA かわにし青年部の皆さんをお招きして・・・



6月21日(月)に、帯広市の「食育推進サポーター事業」の一環で、5年生の総合的な学習の時間(2時間)の出前授業を実施しました。昨年度に引き続き、今年度もJA かわにし青年部の皆さん(総勢17名)を講師としてお招きすることができました。

今年も新型コロナウイルス感染症対策のため、各クラスを2グループに分けて講義をしていただいた関係で、各ブース計8回のお話をさせていただきました。



屋外(農園、グラウンド)グループの時間は、5年生がピザ作りのために育てている5種類(ジャガイモ・とうもろこし・バジル・ピーマン・ミニトマト)の栽培方法について説明をしていただきました。また、昨年度も子どもたちに好評だったトラクターの試乗体験も併せて実施することができました。

屋内(スマイルホール)グループの時間は、全国の人たちから「農業王国」と呼ばれている十勝の農業(小麦・ビート・長芋)についてのお話と大きな牛の模型を使っての搾乳体験を交えた酪農のお話をさせていただきました。

あいにくの天気でしたが、子どもたちは、一生懸命に耳を傾けて、農業に対する様々な思いや願いを知ることができました。



【子どもたちの感想より】

- ・野菜を育てることの大変さを知りました。家庭菜園をする時に役立てたいです。
- ・全自動のトラクターにとっても驚きました。
- ・自分も農業や酪農をしてみたいと思った2時間でした。
- ・JA かわにし青年部の皆さんが育てた作物をぜひ食べたいです。
- ・一生懸命に作物を育てている皆さんのお話を聞いて、自分もお兄さんたちのように、どんなことに対しても最後までやり遂げられる大人になりたいと思いました。



☆牛の模型、オリジナルの紙芝居、野菜の苗など、どの講話も楽しい工夫

がいっぱいでした。たくさんの準備をして熱心に教えてくれるお兄さんたちの姿、かっこよかったですね♪